

平成29年度 日本大学危機管理学部個人研究費 研究実績報告書

所属： 危機管理学部 危機管理学科

資格： 教授

氏名： 安部川 元伸

研究課題	国際テロ集団による要員徴募とテロ・インフラ建設に関する研究
報告の概要	<p>研究目的及び研究概要</p> <p>平成29年度個人研究費は、研究計画を実行するために支出された。研究目的は、イスラム過激派組織の「イスラム国」(ISIL)がシリア、イラクで次々に重要拠点を失う中、数千人といわれる外国人戦士を次々にそれぞれの母国に帰国させ、テロの機会をうかがっているほか、引き続き各国でテロの要員をリクルート、過激化していることから、今後も欧州などの先進国においてISILによるテロの脅威がさらに高まることが予想されている。現実に英国、フランス、スペインなどでは凄惨なテロが複数発生している。その観点から、ISILやアルカイダによるテロ要員のリクルート活動、過激化の手段・手口を見極め、研究することにより、社会の安全に寄与していくことが極めて重要である。</p> <p>この研究目的を達成するために基礎データを集積し、担当する授業で受講学生への講義に使用したほか、本学「危機管理学研究(紀要)第2号」への掲載を期して論文にまとめるべく作業に取り組んだ。(危機管理学研究第2号は2018年3月末に発行予定)。</p> <p>さらに、所属する2つの学会(情報処理学会及び安全保障・危機管理学会)において研究テーマに関連する研究発表を行うとともに、2014年から毎年投稿している隔月発行の一般誌「Strike And Tactical」に2017年5月から2018年1月末までの間に国際テロリズムに関する解説文を5件掲載した。</p> <p>その他、2017年6月から同年8月までの間にYahooニュース(THE PAGE)から原稿の依頼を受け、危機管理、国際テロリズム関連の評論を計5件投稿し、いずれもウェブサイト上に掲載された。これらの記事は研究者の研究結果に基づくものであり、関係各界に研究内容の理解を促すのに役立った。</p> <p>研究成果</p> <p>「個人研究費」を用いた平成29年度の研究成果としては、一般雑誌、ウェブサイト等に掲載された研究者の執筆記事により、研究者の研究内容を一般社会にわずかでも知覚させることができ、2020年に開催される東京五輪並びにパラリンピックへのテロの脅威に官民協力して取り組むことの重要性を市民に提示することにもなった。今後も、研究活動を通じてそのための努力を継続していく所存である。</p> <p>研究活動における問題点は、文献、資料の選択、精読、研究活動の指針を決めるまでの作業に多くの時間を必要とし、平常勤務との兼ね合いで時間の調整に苦慮したことである。今後は計画性と時間の配分を十分考慮した効率性のある研究を進めていきたい。</p>
研究業績	<p>論文および著書 著者名・論文標題・雑誌名・査読の有無・巻・発行年・ページ数</p> <p>論文 ・安部川元伸「国際テロリストによるリクルート活動と過激化に関する一考察」『危機管理学研究』(査読有)、第2号(2018年3月発刊予定) ページ数未定</p> <p>著作はなし</p> <p>学会発表等 発表者名・発表標題・学会名・発表年月日・発表場所</p> <p>学会発表 ・安部川元伸「テロリストによる暗号通信の実態」一般社団法人情報処理学会「第16回情報科学フォーラム」2017年9月13日、東京大学本郷キャンパス理学部内 ・安部川元伸「テロリストのリクルート活動と若者の過激化…東京五輪開催を控えて」、一般社団法人安全保障・危機管理学会、第50回安全保障・危機管理セミナー、2018年2月8日、参議院議員会館大会議室</p> <p>その他 *書評、雑誌投稿など *著者名・標題・掲載誌名・発表年月・発行所 *講演会、研究会等での講演・発表 発表者・発表年月・題目名・講演会等名 *社会貢献活動等</p> <p>①雑誌投稿 ・安部川元伸「欧州におけるテロとの戦いの現状 テロ計画の事前摘発も進む」Strike And Tactical 2017年7月号(2017年5月27日発行) pp. 106-109 ・安部川元伸「イスラム国の崩壊により世界が脅威に晒される」Strike And Tactical 2017年9月号(2017年7月27日発行) pp. 106-109 ・安部川元伸「最近の国際テロ情勢における女性ジハーディストの役割」Strike And Tactical 2017年11月号(2017年9月27日発行) pp. 98-101 ・安部川元伸「イスラム国(IS)、生き残りのためアジアに進出」Strike And Tactical 2018年1月号(2017年11月27日発行) pp. 98-101 ・安部川元伸「イスラム国崩壊はテロの終焉を意味しない」Strike And Tactical 2018年3月号(2018年1月27日発行) pp. 98-101</p> <p>②ウェブサイトへの投稿 ・安部川元伸「46年逃亡の大阪容疑者？逮捕 公安警察の仕事とは？」2017年6月4日、Yahooニュース(THE PAGE) ・安部川元伸「第2ステージに入ったISによるテロ」2017年6月15日、Yahooニュース(THE PAGE) ・安部川元伸「フィリピン 戒厳令1か月超 アジアで新たな拠点構築進めるイスラム国」2017年6月29日、Yahooニュース(THE PAGE) ・安部川元伸「モスル陥落もISは国外拠点でカフ国再建目指す？なお続くテロの脅威」2017年7月12日、Yahooニュース(THE PAGE) ・安部川元伸「欧州全域にテロ拡散 スペイン奪還もくろむISやアルカイダ」2017年8月23日、Yahooニュース(THE PAGE)</p>